

## 令和4年度第1回宇部市史編さん委員会会議議事録

### 1 開催日時及び場所

令和4年8月2日（火）17:00～18:30

宇部市文化会館 2階第1研修室

### 2 出席委員の氏名

岩元 修一委員、 内田 鉄平委員、 武波 博行委員、 安井 敬子委員、  
渡邊 祐二委員、 脇 和也委員、 岡田 広明委員

### 3 事務局職員

野口教育長、 上村教育部長、 床本教育次長  
石津学びの森くすのき・地域文化交流課課長  
石川学びの森くすのき・地域文化交流課副課長

### 4 議事

(1) 宇部市史編さん基本方針（案）について

(2) 今後のスケジュールについて

### 5 会議要旨

会長	議事1 宇部市史編さん基本方針（案）について、事務局から説明等お願いしたい。
事務局	<p>宇部市史編さんを進めていくための基本方針（案）について説明後、皆さんからご意見をいただき、議論を進めさせていただきたいと思う。</p> <p>まずこの市史編さんの目的は、市制100周年事業の一環として取り組むものであり、本市の歴史を明らかにすることにより、市民が本市への理解、愛着を深め、地域への誇りを醸成していける契機になることを目指している。</p> <p>事業期間については、流動的なところもあるが、令和4年度から5年間を予定として考えている。</p> <p>3では、昭和61年以降の宇部市の歩みを最新の情報をもとに歴史を振り返るとともに、将来の礎となる資料として編さんすることとしている。なお、前回の市史編さん事業で編さんされた市史の見直しは行わず、位置づけとしては前回の作った市史の続編とした。したがって、平成・令和の歴史が中心となると思われる。</p> <p>また、広く市民に親しまれ、郷土愛を醸成する市史にするため、写真、図表などを活用し、分かりやすい説明に努める。今までの市史は研究者の研究論文のようなものが多くあった。学術研究についてはとても大事だが、今、求められているのは、分かりやすく市民が活用しやすいものだと思うため、写真や図を活用した市史にしたい。</p> <p>3つ目に、現在、伝達の方法としてインターネット上で公開をして、気軽に活用できる市史というものが求められているため、書籍として刊行するとともに、前回発行した市史も併せてデジタル化を図り、ウェブ上での公開を行う。</p> <p>次に、本市の地域的・歴史的・文化的な特性に配慮し編さんをする。これは市史編さんの根本的な考え方である。この4つの基本方針を基に市史を編さんしたいと考える。</p>

	<p>編さん体制については、市史編さん委員会が市史編さんの基本的方針の調査審議を行い市史の内容等を決めていくこととしたい。</p> <p>市史編さん事務局については、宇部市教育委員会学びの森くすのき・地域文化交流課に事務局を置き、編さんを進めていきたいと考えている。</p>
会長	<p>基本方針（案）について説明があったが、意見等あるか。今回、初めての会議だが、この会議は自由に意見を言ってもらって、ざっくりぼろんな議論ができる編さん委員会にしたいと思う。</p> <p>今、説明があったように、市制40周年記念の市史、また、市制60周年記念の市史は、執筆者が大学、高校の先生方である。非常に精度の高い、学術的な論文が多いが、いかんせん利用しにくいという面を私も常々感じていた。現在刊行している市史ができた時に、私は図書館協議会の委員を拝命していたが、その際、当時の図書館長が市史を販売すると言われた。こんな硬い内容で、市民が買うのかと聞くと、館長は「それが市史です」と言った。読むのではなく、置いておくのが市史だ、みたいな発言を聞いたのを、今でもはっきりと覚えている。それでは意味がないと思う。今、説明があったように、市民に親しまれ、郷土愛を醸成するというような市史を作るとするのは、時代のトレンドにも合っているのではないかと私は思う。</p>
委員	<p>会長から話があったが、今までの市史は、分厚いうえ、硬い内容であり、非常に親しみにくい感じがあった。現在の市史編さんの流れはずいぶん変わってきていて、専門的なことに通じた先生方をお願いしつつも、市民目線で作成しようという動きが強い。難しいことではあるが、そこを両立させるような方法がよい。執筆される方には、ぜひ分かりやすい内容で、なおかつそれなりのレベルを維持するようなものを期待したいなと私は思っている。</p> <p>なお、編さん体制だが、資料を集め、デジタル化し、前回の市史を踏まえてやっていくということであるが、学びの森くすのき・地域文化交流課の職員だけで行うのか。それとも、市史のための専従の職員等を今後配置するのか。事務局から、期間は流動的という説明があったが、それについては、どのように考えたらいいのか。</p>
事務局	<p>現在、市史編さん業務については文化財・市史編さん係が業務を行っており、文化財の業務を行いながら市史の編さん業務も行っている。今は、まだ立ち上げ時なので、両方の業務を行っているが、本格的に市史編さん作業に入った際は、やはり、専属で行う部署が必要ではないかと思う。その辺りは人事の方とも話をしながら進めていきたい。</p>
委員	<p>基本方針（案）の説明があったが、基本方針についてはこの会議で決めていくのか。</p> <p>また、今後のスケジュールだが、市史編さん監修委託業者の決定とある。委託業者に丸投げするような感じに取れる。私も前回刊行された市史を持っているが、ほとんど見たことがない。確かにあのようなスタイルでは一般の方に見ていただけないと思う。もっと、市民が手に取りやすいものしていこうという方針はいいと思う。</p>
会長	<p>質問があった監修委託業者の決定というのはどのようなことを意味するのか。事務局から説明をお願いしたい。</p>

事務局	監修委託業務だが、市史を編さんする際、原稿を集めて編集し、校正等を行う必要がある。専門的な知識を持つ事業者と協力して行うことが必要ではないのかなと思ひ、委託先という書き方をした。
委員	デジタル化することは、決定事項なのか。
事務局	デジタル化については、現在刊行している市史も含めて、実施したいと考えている。
委員	ということは業者も決まっているということか。
事務局	宇部市では、宇部市デジタルミュージアムを開設しており、その中に市史についても掲載していきたい。
委員	TRC—ADEAC との随時契約により宇部市デジタルミュージアムを開設していると思うが、宇部市史についても、この事業者を通して掲載するということか。
事務局	担当課としては、web への掲載は、TRC—ADEAC との業務委託を考えている。
委員	市史編さんのデジタル化の際、業者とトラブルになることも多いと聞くが、執筆者というのは別にして、それを監修するのに業者にお願いするという形なのか
事務局	宇部市デジタルミュージアムへの掲載は TRC—ADEAC への委託を考えているが、市史の内容を作るというのはまた別だと考えている。
委員	事務局からの説明で、現在の市史がとても難しい、レベルが高いということは、私も痛感している。しかし、すごく役にたつ。宇部市観光コンパニオンの会の活動の中で、物事を調べる際は大変役に立つが、自分に関心のない所はあまり見てない。先ほど改めて宇部市史を見たが、やはり難しい。事務局の説明のように、誰でも親しみやすい、そして硬いガチガチの作りはやめていただきたいと思う。宇部日報社の報道100周年の冊子はとってもわかりやすく、常にそれを見ている。小学生の副読本も、図や写真が多くなりとても見やすくなった。なお、彫刻についても是非市史に入れていただきたい。
委員	今回の歴史はどこから記載する対象になるのか。
会長	この案を見ると、前回、市制60周年を記念して作った市史を書き終えた後の歴史となるようだが。
委員	ということは、ここ40年の深掘りということになるのか。市制施行100周年事業ということなので、市制が施行されたときに遡ってみるのも面白いかなと思う。また、内容の正確性をどう求めていくのかということと、今、話が出ている使いやすさというか、活用しやすいような形でということになると、どう表現していくかということと、どう発信していくかということになってくるかと思う。このメンバーでももちろん案も出てくると思うが、そういう作業に長けた人にも入っていただいたほうがいい。それが委員という形なのか、またはワーキンググループとしてかはともかくとして
委員	是非お願いしたいのが、宇部市はいろいろな町が合併して今の宇部市になっている。合併した町村についても、しっかりと郷土愛を醸成するような市史になればいいと思う。私自身東岐波で小・中過ごしたが、小学校の歴史では宇部市に戦争があり、大変だと思っていたが、改めて歴史を見るとその時、東岐波は宇部市と合併しておらず、東岐波は宇部市ではなかったのだと思った瞬間、何か疎外感があった。近年では、旧楠町との合併もある。旧町村に疎外感がないようにしていただきたい。具体的には、最近内田委員

	<p>が執筆され、協会長が監修された『これでわかる宇部市100年』がすごくよかった。東岐波の歴史も細かく書かれていた。具体的に合併する前の地域はこうだったという、その掘り下げがよかった。</p>
会長	<p>市制施行40周年記念事業として編さんされた市史には、戦前の藤山と西岐波それから厚南の歴史も含めて、戦後の昭和28年に合併した北部3地域を別だてで紹介しており、合併前の旧村について宇部市の歴史として取り込もうという努力がある。その次の60周年記念事業の市史には、そういう書き方がされていない。今回はやはり旧楠町の歴史をどこまで入れるのか、合併後のことだけ載せればいいとは思わない。旧楠町では町史が編さんされていないということもある。どこまで旧楠町史を掘り下げるのか、ということも議論していく必要がある。40周年記念事業の市史を見ると、およそ150ページに合併前の旧村の歴史を掲載している。</p> <p>先ほど委員の意見にもあったが、旧市史の見直しを行わないと書いてあるが、決して見直すのではなく、改めて100周年という記念にふさわしいものということになれば、平成・令和の後を継ぐという形だけではないという意見も当然あるかと思う。その辺をどのようにするのかを決めていくのがこの編さん委員会の役割ではないかと思う。</p>
委員	<p>今の宇部市史史料編をみると、統計資料が40年代で止まっている。今回編さんする市史と繋げるのであれば、やはりそこから見直さないと空白ができてしまう。ご存じとは思いますが、記載内容も教育等の問題に関しては、30年代あるいは40年代、新しくても50年代なので、見直さないと繋がらないと思う。そのため、現在の宇部市史の見直しをして、普及版という形で分かりやすいものを作る、それを100周年くらいにまとめるのも絵本と並行してできる資料かなと思う。大人も絵本ではないけれど普及版、そしてそれをデジタル化するみたいな案もあるのかと思う。</p> <p>旧楠町の歴史も少し掘り下げてもいいのではないかと思う。次の市史編さんとなると50年後になるのではないか。そのようなことも含めて議論をもう一度委員会でやったほうがよいのでは。</p> <p>市史には基本的な情報をもちろん入れて、なるべく分かりやすい形で市史を編さんしていけばいいのではないか。</p>
会長	<p>次に、議事2、今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>様々なご意見をいただき、長期のスケジュールは現段階では予定を立てるのが難しいため、今年度、あと2回委員会を開催することとしているので、それについてご説明したい。市史編さん委員会は今年度3回の開催を予定している。本日、市史編さん基本方針（案）及び今後のスケジュールについて議論をするという形で考えていたが、基本方針（案）については、様々な意見をいただいたため、再度、協議する必要がある。</p> <p>市史を編さんするにあたって、前回の市史の継続版を作るということである。これについては詳細なものを作らなくてはいけないと思うが、今までの意見を聞くと、付録という言い方がおかしいが、昭和61年以降の市史と並行したような形で何か作成した方がいいのではないかと考える。その辺も持ち帰って、事務局でも考えてみたいと思う。</p> <p>また、市史編さんに関するワークショップを今年度実施したいと思うが、これに関して</p>

	<p>は市民の方々や郷土史研究会の方々の意見をお聞きする内容としたい。そのワークショップの中で意見を集約するような仕組みを考えてみようと思っている。</p> <p>市史の内容を充実させていくため、モデルケースとなる自治体について、その編さん方法を研究する必要もある。</p> <p>さらに、宇部市の歴史に深く関係されてきた方々への調査、様々な出版物の調査等も必要になってくる。これらについては、基本方針が決定されなければ、具体的に方向性を示すことが難しいため、今後のスケジュールについては、大まかな説明にさせていただきたい。</p> <p>そのため、令和5年度以降の事業予定については、基本方針で定められた内容を令和5年以降に反映し、予定を立てていきたいと思う。</p>
会長	<p>今後のスケジュールについて説明があったが、質問や意見があればお願いしたい。やはり、基本方針が決まらないと、今後の方向性が定まらないと思う。編さん期間についても5～6年で終わらないような気がする。</p> <p>旧市史の編さん組織では、市役所内部、市長や教育長、各部の部長で組織された委員会があり、その下に編さん委員会があったと思う。今回はそのような組織はないと思われるが、最終的に我々の委員としての仕事に対する監視役というのはどこなのか、全く自由に動いていいのかわからない。従来のような形とは違うという認識でよろしいか。そうすると委員の役割というのがよく見えてこない。ただ方針を決めるだけなのか、あるいは執筆もやるのか、業者委託の決定権がどこまであるのか、そういったことがまだ十分に見えてきていない。さらに、市史編さんの予算はどのように裏付けされているのか。言いにくいことでもあり、まだ決まってないのかもしれないが、概算の金額を教えてください。</p>
事務局	<p>市史編さん及び100周年記念絵本の制作は、市制施行100周年推進課から引き継いだものである。その際、予算的なものも引き継ぐこととなった。100周年ということで、一般の方や事業者から寄付を受けている。それらの寄付を基金という形にして、市史と絵本を作成しようという形になった。</p> <p>現在、市史編さんに約3000万円の基金を積み立てていると聞いている。</p>
会長	編さん委員会の委員はボランティアなのか。報酬はないのか。
委員	委員報酬はお支払いする。
会長	報酬の件についても、本日説明があるべきではないのか。
事務局	市史編さん委員会の委員報酬として、1回につき4,000円お支払いすることとしている。説明が遅くなり申し訳ない。
委員	部長及び次長の意見や考えをお聞きしたい。
部長	それでは一言述べさせていただきたい。今回の委員会だが、準備不足の状態の中で委員の皆様にお集まりいただいたことについて、まずはお詫び申し上げたい。事務局としても、この市史をどのような形で編さんすればいいのか、どのような市史が市民に望まれており、それをどのような形にしていっていいか、それらが明確になっていない状況である。その点に関して委員の皆様それぞれの、知見を活用させていただき、先ほどから

	<p>ご意見をいただいているように、現在の市史にあるような硬いものではなくて、分かりやすい、市民誰もが手に取って読めるような、市史を作っていきたいと考えている。</p> <p>それを作るにあたって、事務局からも説明させていただいたが、デジタル化というのが利便性の高いやり方だと考えている。従来の市史をすべてデジタル化して、使いやすくする。デジタル化することで、語句の検索等簡単に行え、より利用しやすい市史にしたいと考えている。</p> <p>また、旧楠町の歴史、これをどのように新しい市史に織り込んでいくかが、非常に大きなテーマだと考えている。それをどのような形でどの程度行うか等、この委員会の中でご議論いただき、その方向性を見出していきたいと考えている。</p> <p>現在刊行している市史は、委員会が執筆者を決め、監修をして作ったということだが、より分かりやすい市史を編さんするには、市史編さんの実績がある事業者等の知恵も借りることも一つの方法だと思う。例えばどのようなものを作るかを委員会で方向性を決め、それを事業者の説明し、それに沿ったものを委託という形で作ってもらう。出来上がったものについては、その都度、委員会に確認していただき、修正していくやり方も、一つのやり方ではないかと思う。</p> <p>私としてはとにかく分かりやすいものを、市民のみなさんに親しみやすいもの、それを作り上げていきたいと思っている。</p>
委員	<p>市史編さんに携わったことがあるが、期間が5年となると最初の1年に委員会で方向性を決めていくことになる。残りの4年については、2年間で資料収集や、事業委託するのであれば、それに対する情報収集をしていき、残りの2年間で実際の執筆を行うスケジュールになると思う。まず、この1年は委員会で旧楠町をどのように掲載するのか、全体の市史編さんは普及版を作るのか、そういったことの方針を決めていき、逆算していくのが通常の市史編さんのやり方だと思う。事務局の方では執筆者についてどのように考えているのか。新たに専門部会等を作る予定なのか。委員の役割や関わり方をどのように考えたらいいのか。</p>
次長	<p>基本方針(案)の2, 3, 4についてはおおむね委員の方も市と同様の考え方をされているということで理解させていただいた。</p> <p>1についてはこれまでの市史と、これから編さんする市史との繋ぎ方をどのようにしていくのか、旧楠町の市史をどのように組み入れていくか、あるいは詳細な市史とは別に分かりやすい市史の普及版を作るのか等、いろいろなご意見をいただいた。個々については事務局がそれぞれの意見を反映し、それを踏まえた基本方針(案)を次回お示しし、委員会でご協議いただきたいと思う。</p> <p>事務局としても市史編さんについては、何十年ぶりということであり、作成についてのノウハウを持っていない状況である。業者へどの程度委託するのか等、委員会でご意見をいただき反映させていきたい。また、先ほど会長から予算に関する質問があったが、各年度の予算編成は10月頃から始まる。次年度以降に必要な予算については、委員の意見も踏まえ、作成方法も決めたい。予算を確保し、着実に市史編さんが行われる体制を取っていきたいと思っている。</p>

会長	次回委員会の開催が12月の予定となっているが、予算編成の時期を考えるともう少し早めた方がいいのではないか。
事務局	10月頃の開催ではどうか。
会長	<p>予算編成時の参考になる時期に委員会の意見を反映させていただきたいので、第2回目の委員会を10月頃に開催したいと思うがいかがか。</p> <p>先ほど、次長からも分かりやすい市史を作っていきたいと言われたが、市史本来のレベルは落とさないでいただきたい。</p> <p>本日の各委員から頂いた意見については、事務局でまとめていただき、次回の委員会で改めて協議させていただきたいと思う。</p> <p>議題は以上2点である。</p> <p>その他、事務局から連絡事項等あるか。</p>
事務局	スケジュールの中にも書いているが、市民や郷土史研究会の方から市史編さんに関する意見を聞きたいと思っている。10月頃に市史編さんに関する講演会及びワークショップを開催したい。委員の皆様にもぜひ参加いただきたい。
会長	講師を誰にお願いするのか等決まっているのか。また、内容はどのようなものか。
事務局	市民からこんな市史を作ってほしいというような意見を集約する目的を持ったような形にしたい。講演会では、市史編さんについて参考になるような話をさせていただきたいと考えている。
会長	<p>その他、連絡事項等あるか。</p> <p>ないようなので、以上で令和4年度第1回宇部市史編さん委員会を閉会する。</p>